

# やすらぎだより

3  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第165号

## 「 実践発表会 」

施設長 植田 誠



来る3月9日のやすらぎ会実践発表会は、10回目を数えるという。これまでの研究発表会から実践発表会へと見出しは変わり、趣も実践成果が中心となる様だ。

各発表の中身を把握していないので成果内容か課題内容かは知らないが、ともかく発表会にはお一人でも多くの方にお越しいただきたいと願う。

1月号にも記したが、晩秋の頃に私は二週間の入院生活を経験した。今はほぼ全快し、有り難くも日常生活にも何ら影響はない。

「あの時の辛さは何だったのか」

振り返っても答えは出ないが、真っ直ぐ？な妻はそれ以来、事あるごとに私にこう言う。

「喉元過ぎれば何とやら、ではダメですよ！」と

以前から私の立場は強くはないが、最近は益々弱くなる。

「真っ直ぐ過ぎるのも考えものだ」

独り言を言っても、正しいのは妻だと納得してしまう。

病気の影響自体はほぼほぼ無いが、あるとすればバランス感覚だけは微妙に崩れる時がある。例えば階段を下りる時、一れつをまわる時、これまで同年代の方以上に運動能力は高いと自負してきたが、今はフラフラしないようにより慎重を要する。

調子に乗りやすい私はこれまで幾度となく転倒し、時には顔面を傷つけ時には骨折もしてきたが、「慎重に」という助言をくれる友人や医者や、そして妻の声は耳には入らなかった。大事となる前、今回の病気はそのことを教えてくれたのであろう。そう思うと、「・・・何とやら」は耳障りとはならない。

実践発表は身近なものであり、日常のものである。法人実践発表会から得られるヒントはあっても、私の実践発表には手掛かりはない。言い換えれば他愛ない反省発表だろう。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 在宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業